

大内中学校通信 紺碧

真岡市立大内中学校 Tel 0285-82-2541
〒321-4405 真岡市飯貝1159
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/ouchihsc>



大内中学校・
キャラクター
『モウモカウ』

学校教育目標
1 意欲をもって学習する生徒
2 健康で実践力に富む生徒
3 豊かな心情をもつ生徒
4 すすんで働く生徒
真岡市立大内中学校
令和5年度 第8号
令和5年12月発行

人権教育の充実

校長 上野 光男
本格的な冬の到来を迎え、身も心も引き締まる季節となりました。寒さの中でも、生徒たちは、元気いっぱいに日々の授業や部活動に取り組んでいます。特に、受験を控えた3年生の頑張りには目を見張るものがあり、進路達成に向けて真剣に学習に向き合い、着実に力を付けています。来春、3年生全員が笑顔で巣立っていけるよう、全職員で支援して参ります。さて、今年も人権週間である12月4日～10日の期間に、全国で様々な取り組みが行われました。本校でも、人権意識の高揚を重要課題の一つと捉えており、教職員の人権教育研修を実施しました。

世界人権宣言が採択されてから70年以上が経過した現在も、依然として多くの人権問題があり、偏見や差別に苦しんでいる人が大勢いる。次に示すのは、様々な人権問題の一部である。

【同和問題】

日本社会の歴史の過程で形づくられた身分差別により、同和地区と呼ばれる特定の地域出身であることやそこに住んでいることを理由に、長年にわたり差別を受けてきた人々が、今も結婚や就職の際に差別を受ける問題がある。

【子ども】

学校では、いじめや暴力、不登校、体罰などの問題があり、家庭では、親から虐待を受けるなどの問題がある。日本は1994年に「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」を批准し、子どもの生命と人権を守ることに取り組んでいる。

【高齢者】

身体や精神面のおとろえを理由に、高齢者をのけ者にしたり、邪魔者扱いしたりするなどの問題がある。また、就職に際して差別されたり、介護の際に身体的・心理的虐待が行われたりする問題などもある。

【障害者】

障害があることを理由に、就職に際して差別される問題やアパート・マンションなどへの入居を拒否される問題、施設における虐待などの問題がある。

【女性】

「男は仕事、女は家庭」といった考え方が今も根強くあり、女性が不利益を受けるなどの問題がある。また、セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)や夫・交際相手などから暴力(DV・デートDV)を受けるなどの問題もある。

【外国人】

言葉や生活習慣等の違いから、入居や入店を拒否されたり、就職に際して差別されたりするなどの問題がある。また、一部の国や民族などの外国人に向けて憎しみをあおるような差別的言動(ヘイトスピーチ)が行われるなどの問題もある。

【HIV感染者・ハンセン病患者及び元患者】

不正確な知識や思いこみによってHIV感染者やハンセン病患者等への偏見や差別意識が生まれ、患者・元患者やその家族が日常生活や職場などで差別を受けるなどの問題がある。現在、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中、感染者やその家族、医療従事者などが差別されるケースも発生している。

【インターネットによる人権侵害】

自分の名前を明らかにせず、不特定多数の人に自由に情報を公開できる特性が悪用され、悪口が書き込まれたり、プライバシーが侵害されたりするなどの問題がある。

人権は、誰にとっても身近で大切なものであり、必ず守られるべきものである。しかし、私たちの心の中には、自分とは違う一面を持つ人を差別する気持ちが入り込んでくることがある。その弱い気持ちに負けないためには、人権感覚を磨き続けなければならない。自分の心に偏見の芽はないか、みんなと違うという理由だけで排除や差別をしていないか、弱い立場の人をいじめていないかなど、常に自分自身を厳しく見つめることが大切である。

世界大戦など20世紀までの反省の上に立ち、21世紀を全ての人の人権が尊重され、幸福が実現する時代にしたいとの願いを込めて、「21世紀は『人権の世紀』である」とされています。21世紀を生きる生徒たち一人一人の人権が尊重され、安心や幸せを享受できるよう、本校では引き続き人権教育の充実を図って参ります。

【海外派遣事業11/4（土）～11/10（金）台湾】



【マイ・チャレンジ 11/29（水）～12/1（金）】



※学校のホームページではカラー版を御覧いただけます。

